金 山小5年生が防災出前講座を受講
災害時を想定し避難訓練を実施

6月22日、金山小の土砂災害避難訓練にあわせて5年生を対象に防災出前講座が開催されました。金山小学校の校舎の一部は土砂災害警戒区域（イエローゾーン）となっており、児童たちも普段から土砂災害についての知識を身につけることが大切です。講座は山形県砂防・災害対策課の職員が、土砂災害の映像や模型などを使い土砂災害発生の仕組みや砂防堰堤などの防災設備を紹介するなどしました。参加した児童は、災害のしくみや危険性を学び、分からないことを積極的に質問するなど土砂災害についての理解を深めました。

▶どこが危ないのか普段から確認し、避難することの大切さを学んだ

交 通安全母の会が一人暮らし世帯を訪問
交通安全と防犯の啓発のために

町交通安全母の会が主催する「一人暮らし高齢者世帯訪問」が7月6日夕方、新庄警察署や町防犯協会、民生委員など関係団体の協力のもと実施されました。

70歳以上で一人暮らしの146世帯を一軒ずつ訪問し、さくらんぼと夜光反射材を配布しました。

星川会長は「県内では高齢者の交通死亡事故が多発しており、特に夜間は注意が必要。また、特殊詐欺など身近にある犯罪に遭わないよう注意喚起していきたい。エアコンを適切に活用し、熱中症にも気を付けて欲しい」と声をかけていました。

▶交通安全を呼びかけながら訪問活動を行った交通安全母の会と団員の皆さん

犯 罪や非行のない明るい社会を目指して
保護司が内閣総理大臣のメッセージを伝達

7月1日から31日にかけて「第72回社会を明るくする運動」が実施されました。

犯罪のない社会を目指すこの運動の活動初日である、7月1日には、町の保護司4名が佐藤町長を訪問。運動への協力依頼とともに「犯罪や非行からの立ち直りに取り組む人たちを再び地域に受け入れ、仕事や居場所を確保することが重要だ」といった内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。

▶金山中を訪問し、活動の意義を伝えた保護司の皆さんと高橋校長先生、鈴木生徒会長

その後、町内各所を訪問し、のぼり旗や看板設置等の活動を実施。金山中では、保護司の活動について説明するとともに、運動の理解を深めてもらうために、保護司会から3年生の皆さんに手帳とボールペンを贈呈。代表して生徒会長の鈴木暖生さんに手渡しました。

第72回社会を明るくする運動
#生きづらさを生きていく

すべての国民が犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深めそれぞれの立場で力を合わせることが大切です。生きづらさに寄り添い、立ち直りを支援する方法は様々です。

●理解を深め見守る
●寄附で応援する
●イベントに参加する
●立ち直りを支援する担い手になる

立ち直りを支援する輪にぜひ参加してみませんか。

担当 役場健康福祉課福祉係 ☎29－5613

建 設業各社がボランティア活動
「お世話になっている地域に恩返しを」

▼①②星川建設・星輪は町道のカーブミラー磨きなどに加え、十日町の山車小屋を設置
③白岩土木建築は白山神社の参道やお宮周辺をきれいに整備

①

②

③

夏季安全大会にあわせて、町内の建設業各社が、清掃や草刈りなどのボランティア活動を実施しました。

星川建設㈱・㈲星輪は7月2日に、白岩土木建築㈱は7月1日に、それぞれ実施。各社とも「普段からお世話になっている地域に恩返しがしたい」という思いから始まった活動です。

よく利用する道路脇の清掃や会社近辺の草刈りなどのほか、星川建設㈱・㈲星輪では、金山まつりを盛り上げるために、若連の負担を少しでも減らしたいと、十日町地区の山車小屋設置と解体のボランティアも実施されています。白岩土木建築㈱は、白山神社周辺を綺麗に整備。町内の美化になることはもちろん、町の活性化にもつながるボランティア活動。各社ともに「社会貢献として、これからも継続して活動していきたい」と話していました。

東 京金山会会員と町議会の皆さんが
地元金山で交流を深める

6月30日、東京金山会の会員と町議会が「蛍を見る会」と題してシェーネスハイム金山で交流を深めました。6月19日には町議会が東京金山会総会「ふるさとを語る会」に出席し、東京都で会員の皆さんとたくさん対話をしてきました。

今回は、東京金山会の会員が久しぶりに地元金山に帰省したことから、シーズンを迎えた蛍の鑑賞と、地元金山の料理でおもてなし。温かい雰囲気の中で、思い出話しに花を咲かせました。参加した皆さんは「今後も交流を重ねよりよい関係を作っていきたい」と話してくれました。

▶交流会に参加した東京金山会の会員の皆さんと町議会議員の皆さん

で ん六が落花生の草取り作業を実施
町と農業交流を図る

▶落花生の草取りや野菜の収穫体験に参加した皆さん

7月16日、㈱でん六の社員とその家族など、計32人の皆さんが、町新産地開発協議会の落花生畑の草取り作業などを行いました。今回の活動は、実際に金山町を訪れ、農業体験や町民との交流を通し町の産業振興にどのように関わっていくかを考えるために企画されたもの。草取り以外にも、にらやズッキーニの収穫体験、ピーナッツペーストの加工体験を行い、終了後は、落花生など地元産品を使った昼食を味わいました。今回の農業体験は大変好評いただき、参加者からは「また参加したい」という声が上がりました。